

小学校国語 A

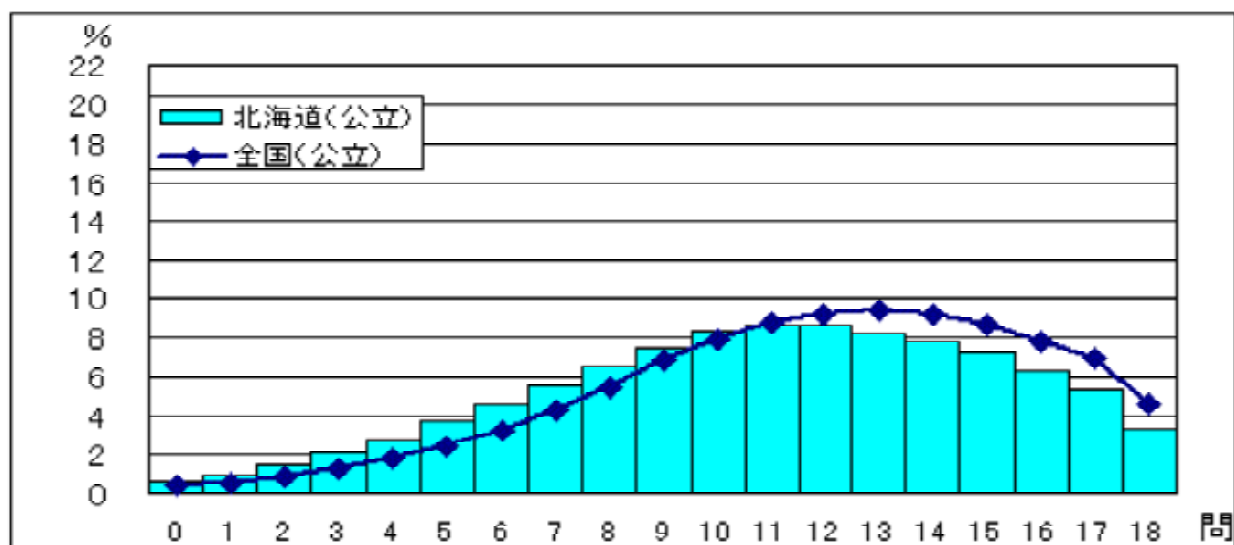
平均正答率が60.5%であり、全国と比べて4.9ポイント低く、今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。

[全国:H19(81.7%) H20(65.4%)、道:H19(79.4%) H20(60.5%)]

【平成20年度】国語 A

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	47,413人	10.9問/18問	60.5%	11.0問	4.2
全国(公立)	1,147,582人	11.8問/18問	65.4%	12.0問	4.0

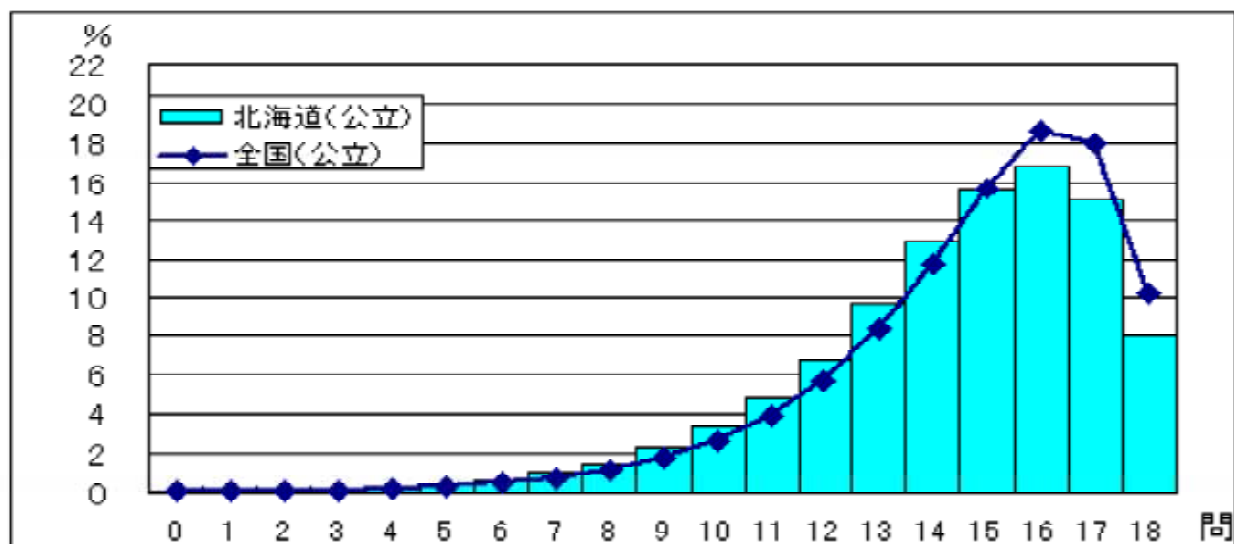
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



【参考】[19年度国語 A]

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	46,518人	14.3問/18問	79.4%	15.0問	2.9
全国(公立)	1,125,575人	14.7問/18問	81.7%	15.0問	2.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



小学校国語 B

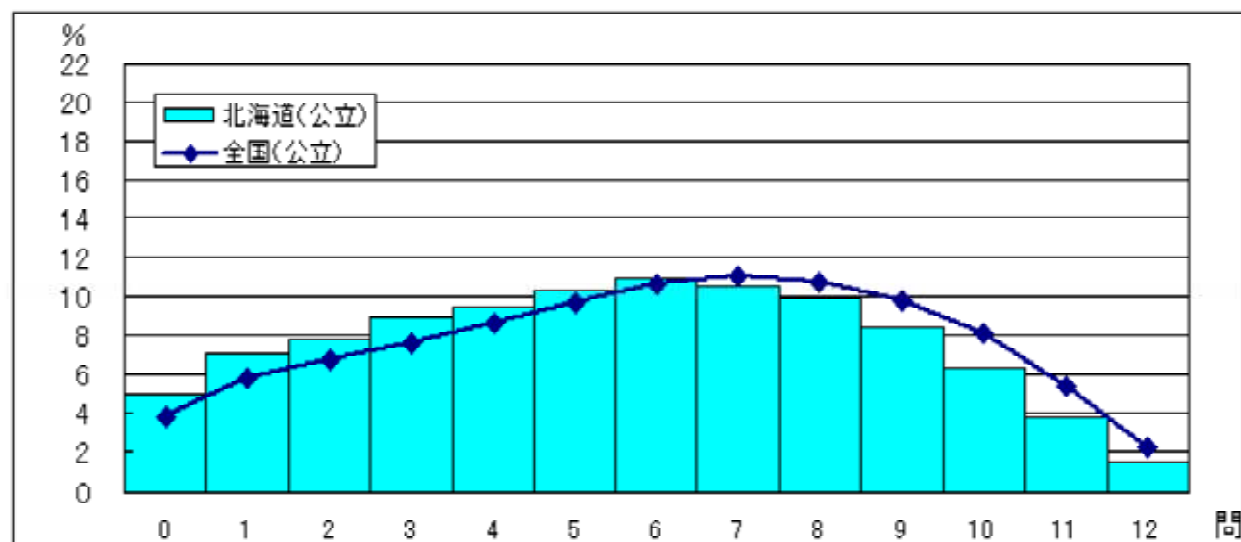
平均正答率が46.4%であり、全国と比べて4.1ポイント低く、今回出題された学習内容にかかる知識・技能を活用する力に課題がある。

[全国:H19(62.0%) H20(50.5%)、道:H19(58.0%) H20(46.4%)]

【平成20年度】国語 B

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	47,399	5.6問/12問	46.4%	6.0問	3.1
全国(公立)	1,147,406	6.1問/12問	50.5%	6.0問	3.1

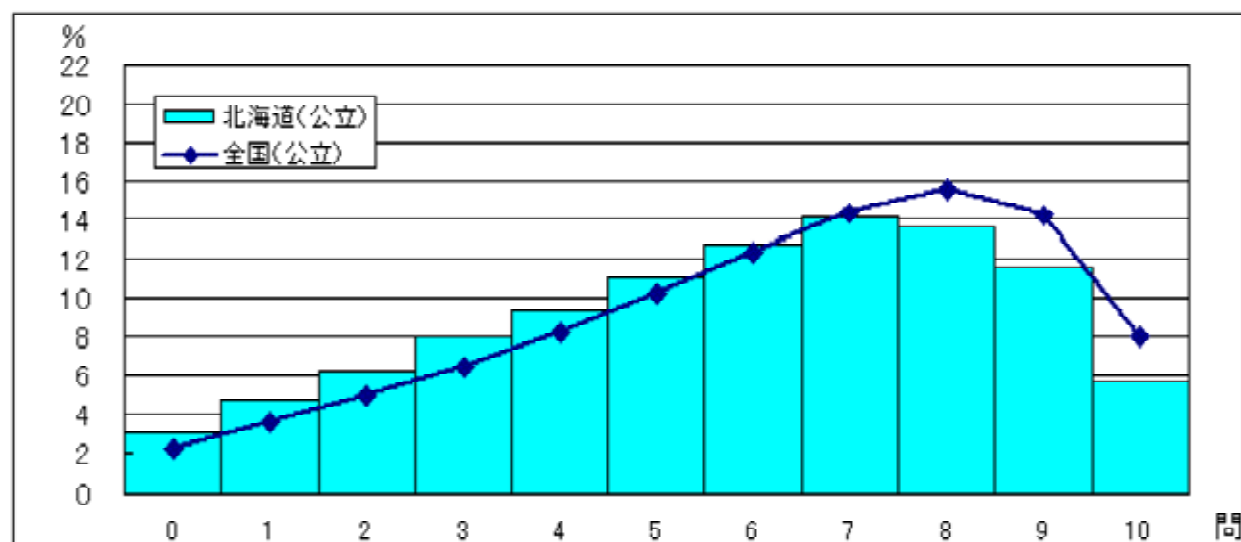
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



【参考】[19年度国語 B]

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	46,517人	5.8問/10問	58.0%	6.0問	2.7
全国(公立)	1,125,422人	6.2問/10問	62.0%	7.0問	2.6

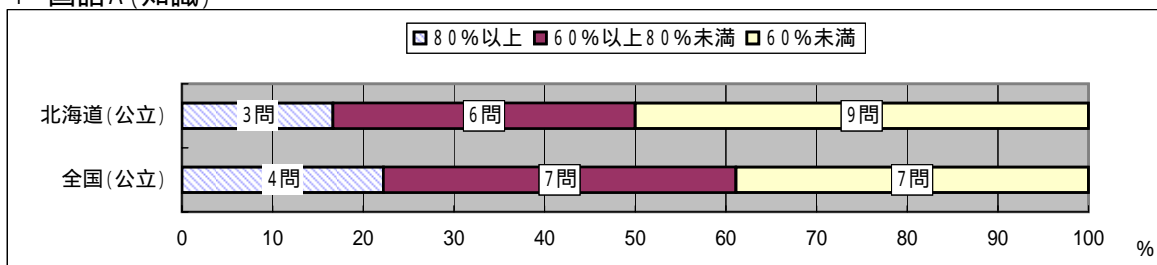
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



設問別の正答率に見る調査結果

国語A(知識)について、正答率80%以上は、18問中3問であり、正答率60%未満は、9問であった。
 国語B(活用)について、正答率60%未満は、12問中9問であった。

1 国語A(知識)



< 正答率80%以上の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
1 - (1)	言語事項	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む	97.0%	98.1%
2 二	言語事項	文脈における意味を考えながら、同音異義や同訓異義の漢字を使い分ける	83.0%	90.1%

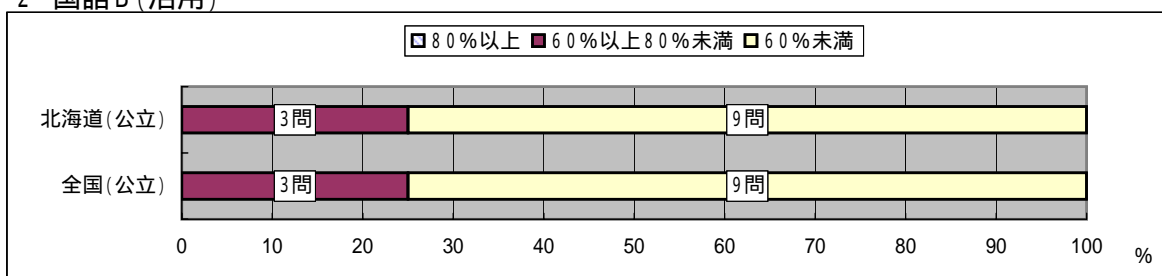
3問中2問を例として掲載

< 正答率60%未満の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
1二(2)	言語事項	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く	53.6%	63.0%
7	書くこと	目的や課題に即して、資料から分かったことをメモに取る	40.9%	47.5%

9問中2問を例として掲載

2 国語B(活用)



(正答率80%以上の設問はない)

< 正答率60%未満の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
2三	書くこと 読むこと	登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読む	38.0%	45.0%
3三(2)	書くこと	目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書く	26.7%	32.4%

9問中2問を例として掲載

小学校算数 A

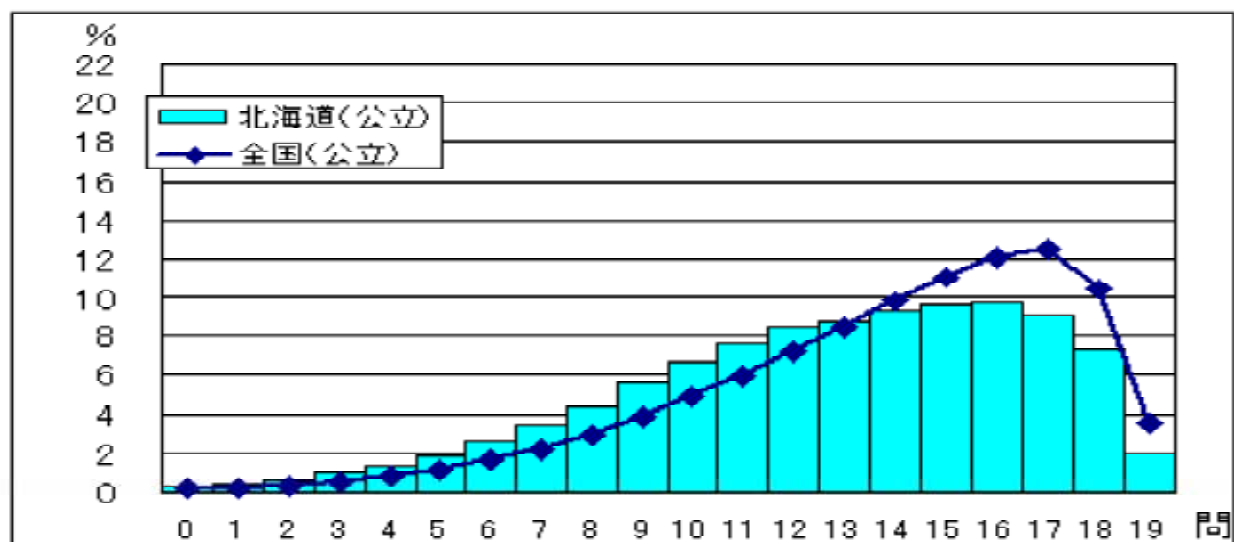
平均正答率が 66.4%であり、全国と比べて5.8ポイント低く、今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。

[全国:H19(82.1%) H20(72.2%)、道:H19(76.8%) H20(66.4%)]

【平成20年度】算数 A

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	47,414 人	12.6 問/19 問	66.4 %	13.0 問	4.0
全国(公立)	1,147,633 人	13.7 問/19 問	72.2 %	14.0 問	3.7

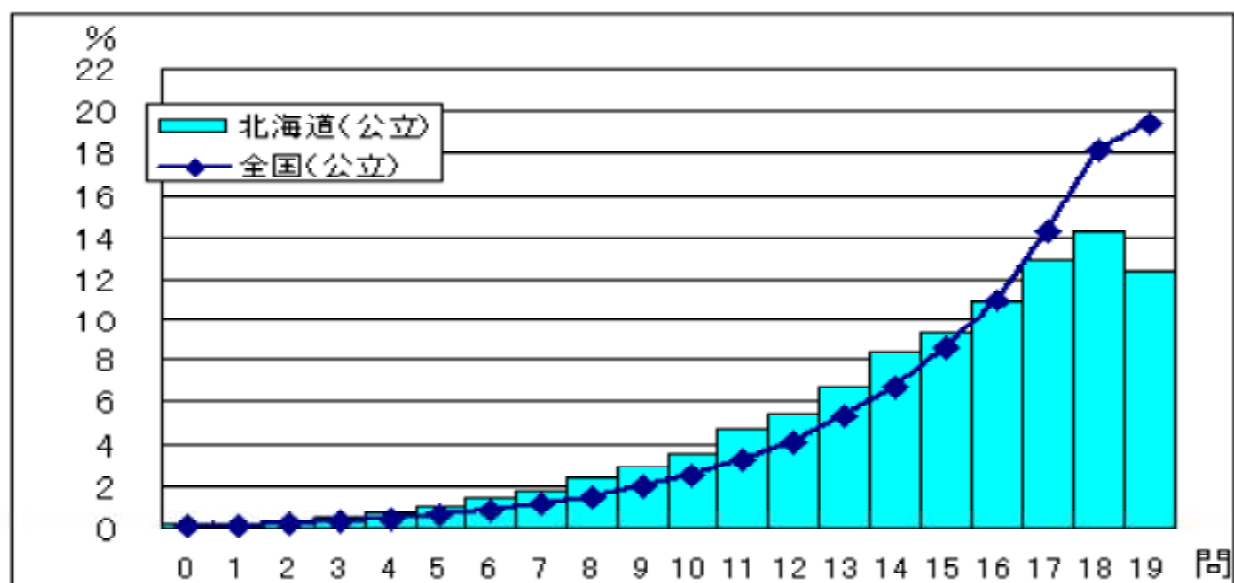
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



【参考】[19年度算数 A]

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	46,518 人	14.6 問/19 問	76.8 %	16.0 問	3.8
全国(公立)	1,125,585 人	15.6 問/19 問	82.1 %	17.0 問	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



小学校算数 B

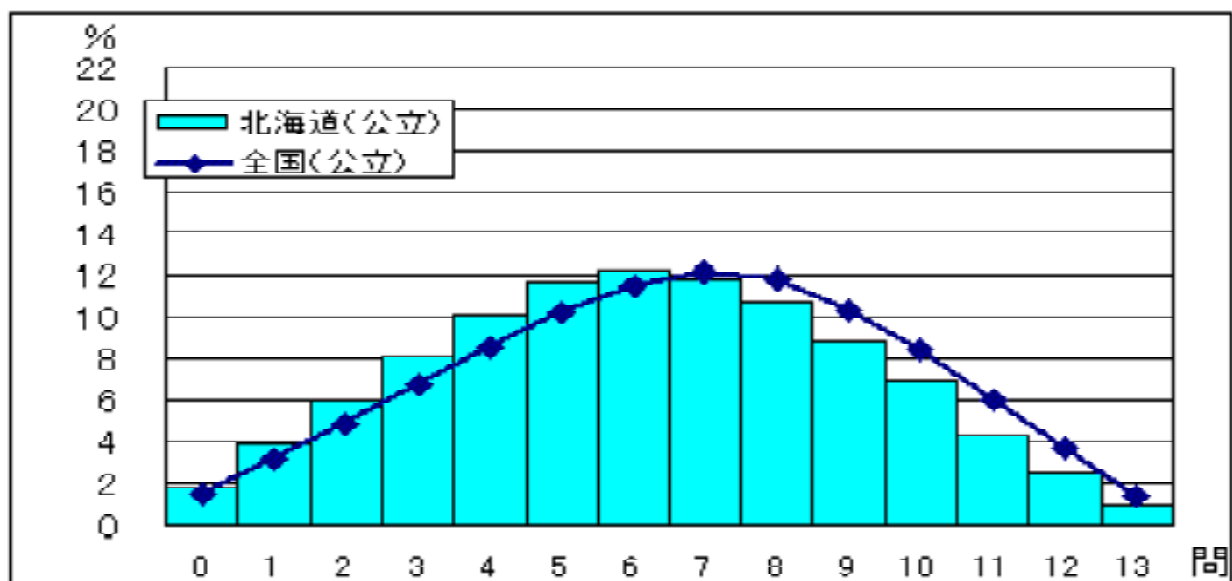
平均正答率が47.7%であり、全国と比べて3.9ポイント低く、今回出題された学習内容にかかる知識・技能を活用する力に課題がある。

[全国:H19(63.6%) H20(51.6%)、道:H19(58.6%) H20(47.7%)]

【平成20年度】算数 B

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	47,399人	6.2問/13問	47.7%	6.0問	3.0
全国(公立)	1,147,475人	6.7問/13問	51.6%	7.0問	3.0

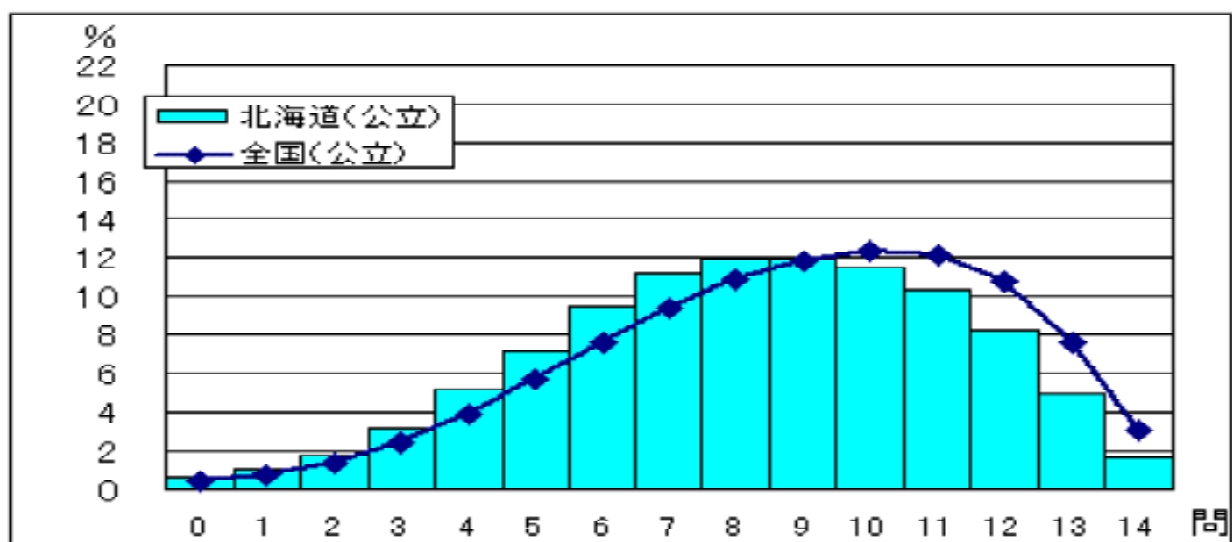
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



【参考】[19年度算数 B]

	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
北海道(公立)	46,507人	8.2問/14問	58.6%	8.0問	3.0
全国(公立)	1,125,522人	8.9問/14問	63.6%	9.0問	3.0

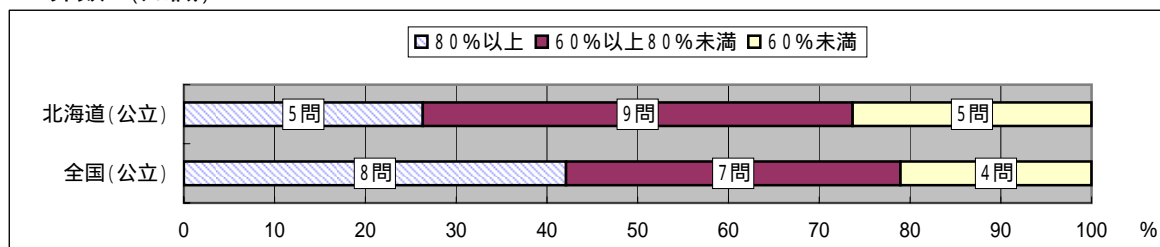
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



設問別の正答率に見る調査結果

算数A(知識)について、正答率80%以上は、19問中5問であり、正答率60%未満は、5問であった。
算数B(活用)について、正答率80%以上は、13問中2問であり、正答率60%未満は、8問であった。

1 算数A(知識)



< 正答率80%以上の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
1(1)	数と計算	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	90.8%	93.0%
5	量と測定	平行四辺形の面積の求め方を理解し、面積を求めることができる	81.6%	85.2%

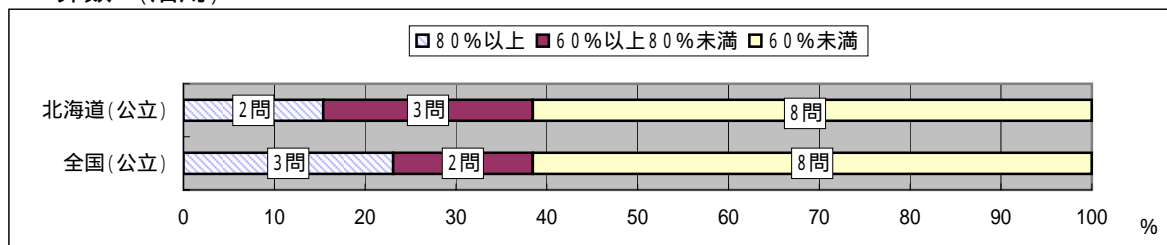
5問中2問を例として掲載

< 正答率60%未満の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
8(2)	図形	ひし形、直角三角形の定義や性質について理解している	51.6%	64.1%
9(2)	数量関係	百分率の意味について理解している	41.6%	54.9%

5問中2問を例として掲載

2 算数B(活用)



< 正答率80%以上の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
1(1)	図形	開け閉めするドアの動きが、円の一部であることを見いだすことができる	83.4%	84.9%
2(1)	数と計算 数量関係	グラフから情報をよみとることができる	82.9%	84.3%

2問中2問を例として掲載

< 正答率60%未満の設問 >

設問番号	領域等	出題の趣旨	北海道(公立)の正答率	全国(公立)の正答率
1(2)	数と計算	情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述することができる	25.4%	30.1%
3(3)	量と測定 図形	図形を変えて考える発展的な場面で、面積の関係をとらえ、判断の理由を記述することができる	27.9%	33.1%

8問中2問を例として掲載